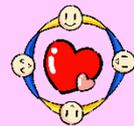


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.219

2026. 2. 1

新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 加藤 敦子



会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、当会主催の研修会や余暇活動に多くのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。今年も皆様に参加したいと思っただけけるよう、役員一同力を合わせて活動を進めてまいりますので、変わらずのご支援ご協力をお願いいたします。

さて、昨年11月8日(土)9日(日)に第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会/本人大会が開催されました。8日は分科会で、9日の全体会には全国から2000人以上の会員が参集しました。これだけの規模の大会を準備された全国手をつなぐ育成会連合会や東京都手をつなぐ育成会の運営スタッフのご苦勞はいかばかりかとお察しいたします。素晴らしい大会に参加できたことはたいへん幸せでした。

今回は私も僅かながらお手伝いの一端を担わせていただいたのですが、打ち合わせや待ち時間では関東甲信越ブロックの会長の皆様と交流を持つことができました。お互いの会の話のみならず、家族のことやたわいもない日常の話もあり、とても楽しいひとときでした。このような人と人との顔が見える交流が、私が育成会活動を続けている大きな理由の一つではないかと思ひます。

一定の必要な情報はインターネット検索で簡単に得ることができる現在、育成会などのような団体に所属する意味が問われています。しかし、今回のような式典に参加すると、これだけ多くの共感しあえる仲間が全国にいることを実感します。全国には育成会会員が約10万人います。インターネットや本からの情報だけでは得られない、同じ悩みを共有できる仲間との繋がりを持つことの大切さを、改めて認識しました。

当会でも、研修会や余暇活動、また各支部の活動を通じて、会員同士の顔が見える繋がりを大切にしていきたいと思ひます。困りごとや悩みを気軽に話し合えるような会であり続けられるよう、今年も明るく前向きな活動をしてまいります。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で検索してください



創立70周年記念 第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 東京大会 大会スローガン「ともに生きる社会をめざして」



記念式典

会長 加藤 敦子

大会2日目の11月9日(日)、大田区蒲田の日本工学院アリーナにおいて記念式典が行われました。広い会場には、全国から2000人以上の会員が参集しました。

佐々木桃子大会会長の挨拶のあと、表彰状・感謝状の授与が執り行われ、特別表彰として、全国手をつなぐ育成会連合会の久保厚子顧問が受賞されました。他、31名の方が表彰

状を、10名の方が感謝状を授与されました。

今大会では来賓として、秋篠宮佳子内親王殿下がご臨席されました。否定的な言葉を使わずに前向きな言葉を使う会の取り組みに触れられ、「努力してこられた皆様に、心から尊敬の気持ちをお伝えします。知的障害に対する理解がさらに広がり、一人ひとりが大切にされ、全ての方が安心して暮らすことができる社会になることを願っています」と、おことばを述べられました。ゆっくりとした穏やかな口調で、来場者に視線を向けながら笑顔で語りかけられるおことばは、我々の心に響き、会場中が静かに聴き入っていました。

その後、黄川田内閣特命担当大臣を始め、多数の来賓祝辞があり、最後に育成会大会宣言、本人大会宣言が決議されて閉会しました。



記念講演 対談「ともに生きる社会をじんわりと語り合う」

副会長 吉野 明美

『梅切らぬバカ』の映画監督 和島香太郎氏と植草学園大学学長 野澤和弘氏との対談形式の記念講演でした。映画は自閉症の息子とその母親の日常を描いたもので、主人公の塚地武雄さんと加賀まりこさんとのやりとりなど、映画が完成するまでの秘話を聞くことができました。社会と接する時にトラブルや無理解があるという話の時に、「ともに生きる」難しさを感じました。

映画の中で、グループホームでトラブルがあり戻ってきた息子に「ありがとう」と母が抱きついた時「壊れていてもかまいません」という廃品回収車の声優しい言葉だと思って、ちょっと合致した部分だったという話が印象的でした。

お二人が「親子・家族・暮らし・福祉・幸せ」について語り合うのを聞きながら、楽観的でも悲観的でもなく、時には面倒に感じることも含めて「ともに生きる」について考える機会になりました。



当会からの参加報告…延べ33名が参加しました。1日目は分科会で、どの会場も多く参加者で空席がない状態でした。2日目は式典で、入場の際は、物々しい警備の中を緊張しながら会場に入りました。会場を埋める参加者に、全国にたくさんの仲間がいることを頼もしく思った2日間になりました。



この全国大会への参加は、赤い羽根共同募金配分金を費用の一部に充当して実施しました

育成会大会分科会（11月8日（土）13:00～16:00）

第3分科会「シニア世代の暮らし方」～健やかな高齢期を目指して～

副会長 梅田 順子

第1部：基調講演 知的・発達障害者のライフステージと生きがいづくり

—将来を見据えた支援を考える—

講師：岡田 裕樹 氏 社会福祉法人清水基金 課長

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園客員研究員

知的発達障害者も高齢化を迎えています。様々な理由で、低年齢で生活習慣病や認知症などになる人が健常者よりも多くなります。認知症は周囲の気づきが遅くなりがちなので、日ごろから本人のことを記録しておくといい。また、気になることを伝え合う支援者間のコミュニケーションがポイントとなります。

親も高齢になるので本人のライフプランを考えていく必要があります。本人の望む方向を引き出していくことが大切です。

第2部 シンポジウム

それぞれが事業所で取り組んでいることを発表しました。岡田氏はその成果や困りごとなどを質問する形式で聞いていきました。お話を聞いて、我が子の「意思決定支援」について改めて考える機会となりました。



第4分科会 権利擁護 ～自分らしく生きる～

宮前支部 小澤 千枝

第1部：基調講演 大切な人の“いとなみ”を支える実践

講師：片桐 公彦 氏 社会福祉法人みんなでいきる 理事

片桐氏が福祉支援事業や厚生労働省の専門官に携わる中でのエピソードを交えながら、障害者の権利について侵害、差別されていた過去から意思決定支援が義務化されるまでを話しました。そして本人が「本当はどうしたいのか」を常に思い支援することが大切だと訴えられました。

第2部：シンポジウム

野口氏と安部氏が入所施設における実践報告を通して重度障害者、強度行動障害者にも意思決定支援は可能であると話しました。また塩谷氏からは生活支援として東京都手をつなぐ育成会が取り組む「預り金等支援」について実践報告がありました。

第4分科会は約200名の参加者で会場がいっぱいとなり、テーマである意思決定支援への関心が高いことを感じました。そして、権利擁護について考えを深めた分科会でした。



第5分科会 育成会活動の現状と親の会の新時代

～みんなが元気になる秘訣～

会計 三浦 ひろみ

第1部：対談

講師：田中 正博 氏 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事長

佐々木 桃子 氏 全国手をつなぐ育成会連合会 会長

第2部：シンポジウム

3つの都市の親の会から地域での活動発表でした。会員の減少や新規会員の獲得、世代交代といった課題は、どの地域の育成会にも共通していますが、各発表ではそれぞれの
(4ページに続く)

地域ならではの特色ある活動や、実践的なノウハウを共有していただき、とても参考になるとともに大きな励みとなりました。また、新たなつながりを持つことで活動の間口が広がり、そこに新しい視点や取り組みの広がり生まれることで、会の活性化につながっていく可能性を感じました。

登壇者の皆様のお話から多くの刺激を受け、特に「楽しく活動しなくてはダメ」という言葉が印象に残っています。当会においても会員の皆さんとともに、新時代に向けて楽しく元気に活動していこうと、背中を押していただいた分科会でした。

本人大会分科会（11月8日（土）13:00～16:00）

第2分科会 私たちのリアル 楽しいこと・困ったこと、話し合おう！

支援者 針木 正子

『私たちの広場』メンバー2名と支援者1名で、参加しました。

沖縄、奈良、富山、埼玉など全国各地からの参加による熱気あふれるグループディスカッションでした。“楽しいこと”では、仕事、趣味、スイーツ、押し活、地元サッカーチームの昇格など日常生活が思い浮かぶような話でした。また、“困ったこと”では、仕事・健康のことや、JRのパソコン予約、電子マネー、セルフレジ、ポイントカードなどデジタル化対応の不安や教えて欲しいなどの話に、皆「ある、ある」と頷いたり顔を見合わせたり。

参加したメンバーが思いを共有でき、たいへん充実した時間だったと思います。支援者の私も有意義な時間となりました。



第3分科会 親・兄弟姉妹 私たちの未来 ～家族も一緒に考えよう～

多摩支部 神田 明子

講演：親なきあとの生活

講師：渡部 伸 氏（「親亡き後」相談室室長・世田谷区手をつなぐ親の会会長）

親の心配事はどんなことか、障害のある本人からの相談事例、住まいや暮らしの選択肢について、生活を支えるサービスなど多くの情報をわかりやすく話されました。

きょうだい発表

発表者：伊東 佳奈 氏・ユカ氏（妹）／あべ けんた 氏・安部 俊和 氏（兄）

伊東姉妹はお互いに対する思いと心の葛藤などの話をされました。また、安部兄弟は運転免許取得のための教習所のことや恋の話など日々の出来事を、ぼけと突っ込みを交互にしながら漫才を聞いているようなやり取りで話してくれました。

息子と夫も一緒に親子3人で参加しました。両きょうだいの話から親としてどうあるべきかを考えるきっかけとなりました。

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会

「親の高齢化・子の高齢化」より

～ 本人の住まいをどのように確保するか～

日時 2026年2月19日（木）10:00～11:45

場所 川崎市総合自治会館 大ホール

講師 又村 あおい 氏（全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長）

※ 詳しくは当会ホームページをご覧ください

行政関係者との研修会

「はたらく」ってなんだろう～新制度「就労選択支援」とは？～

研修事業推進委員 森 由里

11月5日（水）エポックなかはら7階会議室にて研修会を行いました。一般の方を含めて60名の参加がありました。川崎市障害福祉局障害保健福祉部障害社会参加・就労支援課課長の柘宜正太郎氏、社会福祉法人青い鳥川崎南部就労支援センター所長の西村和恭氏から、障害者の就労についてお話しいただきました。



まず、柘宜氏より雇用制度について説明があり、令和7年10月より川崎市の雇用・就労支援に、『就労選択支援』が創設され、希望者には短期間の生産活動等を通じ、適正や能力の評価、本人の希望をふまえ関係機関と連携会議を開催し、本人と協同で『アセスメントシート』が作成され就労先や働き方についてより良い選択をする為に活用されるとのことです。まずは市内5施設取り組みが始まったことをご紹介いただきました。

次に、西村氏より就労支援センターについて、障害者が企業で働くことが出来るよう仕事探しや働きつづける為のサポートをする事業所と説明いただきました。また、企業で働くには、生活のリズムを整え、挨拶、返事、報告、連絡、相談、社会人として責任ある行動がとれることが必要とのお話もありました。

親として、障害を抱えての就労、特に知的障害者が働き続けていくことの難しさを強く感じます。そのハードルを乗り越えるのは、最後に西村さんがお話しされていた、「本人の働きたい」という気持ちと職場等での関わってくださる方々の理解やサポートなのでしょう。この度始まった『就労選択支援』の取り組みが就職を希望される方の大きな力になることを切に願います。

やまゆり生活サポート協会との共催研修会

知的・発達障害者のお金に関する話

権利擁護副委員長 西澤 知子

11月18日（火）てくのかわさきてくのホールにて、やまゆり生活サポート協会との共催研修会を開催しました。お金の残し方と管理の仕組み～年金、遺言、信託、後見～についての内容です。講師は「親なきあと」相談室主宰／行政書士・社会保険労務士の渡部伸氏でした。親の会会員と一般を含め71名の参加がありました。



渡部氏ご自身が障害者の親であり、東京都世田谷区手をつなぐ親の会の会長でもあることから、障害者の親としての目線や体験談も交えてのお話は親近感がわき、参加者も共感するようにならずきながら熱心に話を聴いていました。障害基礎年金・遺言・信託・成年後見制度と1つ1つの内容が深く、それぞれで研修会が成立してしまうような内容でした。

話の中で「前にできなかったことが今はできるようになったことが増えている、制度がどんどん変わってきている。だからと自分から情報を取るの難しい。言葉を知らなければ検索のしようがない」や、「話を聞いて良いと思ったらやってもいいし、ピンとこなければアンテナを張って情報をキャッチアップしてほしい」と、研修会や講演会に参加する意義を伝えてくださいました。

渡部氏の言葉にあったように「心配しすぎず何とかなる」できる準備をしていきたいと思えます。

支部通信

懇親会（中原支部）

中原支部長 西澤 知子

10月27日（月）福祉パルなかはら1階研修室にて、中原支部懇親会を行い、参加者は14名でした。加藤会長はじめ役員からの挨拶の後、会員の皆様から現在の状況や、悩みについて語り合いました。中でも、諦めていたグループホームに入れたというお話や、自宅に居る子どもに障害の分野で訪問看護が利用できるケースがあるという新しい情報もお聞きすることができました。子どもの年齢によって悩みは変わりますが、顔を合わせて話すことによって、将来に向けて一歩踏み出せるきっかけを得られました。また、来年度も集まる機会を持ちたいと思います。



川崎区福祉まつり参加（川崎支部）

川崎支部 阿部 多賀子

11月8日（土）10時から15時まで川崎市教育文化会館で、開催されました。私たち川崎支部では、知的発達障害疑似体験で当会をアピールし、体験してもらうことで、当事者の気持ちを理解していただくデモンストレーションを行いました。24名の方が体験してくださいました。「こんなに不自由なのね」とか「障害者には、こういう風に接するといいのね」「高齢者の不自由さと似ている」という感想をいただきました。



また、個人的には福祉作業所の手作り販売で、お正月用の祝い箸がお勧めです。干支の袋が可愛いく、ちょっとしたプレゼントにも使えます。骨密度や血管年齢を測ってくれるコーナーもあり、イベントが盛りだくさんです。

来年の秋も開催されると思いますので、ご興味のある方はお運び下さればと思います。

おしゃべり多摩12月（多摩支部）

多摩支部長 神田 明子

12月5日（金）向ヶ丘遊園駅近くの福祉パルたまにて茶話会を行いました。多摩区内の法人が行った親なき後のお金についての研修会に参加された方々からお話を伺いました。また、出身地の違いからくる苦手な食べ物などの話からグループホームでのそれぞれの暮らしや、強度行動障害者の入所施設での話になりました。



他にも、インターネットも普及していなかった時代の話、自分たちの兄弟姉妹、家族の話など、1時間半という時間内とは思えないくらい沢山のしゃべりをしました。

赤い羽根共同募金街頭活動（幸支部）

幸支部長 小板橋 冬

12月11日（木）JR川崎駅中央通路にて赤い羽根共同募金街頭活動が行われ、幸支部から2名が参加しました。

自由通路という買い物客で賑わう場所なので、声を出して呼びかけると、多くの方が足を止め募金に協力してくださいました。小さ話になりましたなお子さんがお母さんと一緒に募金してくれる姿は可愛かったです。幸区社協職員の方から「明日は高校生の皆さんが募金活動してくれます」とのお話があり、若い世代にも関心を持って参加できるボランティア活動であることを知ることができました。13時から1時間という短い時間でしたが良い経験となりました。次回も機会があれば参加させていただきたいと思います。



令和7年度 川崎市障害者団体部会リーダー研修（視察研修）

副会長 吉野 明美

10月24日（金）、障害者団体のリーダーが見学を通し、障害者福祉の現状を確認すると共に団体相互の交流を深め、活動の活性化を図ることを目的として、今年度は、「ココ・ファーム・ワイナリー」の見学に行ってきました。

「ココ・ファーム・ワイナリー」は、栃木県足利市で1960年代に特別支援の必要がある子どもたちが通う「こころみ学園」の園長とその考えに賛同した父兄たちにより設立されました。現在は、入所者90名と、近くにあるグループホーム利用者を含め19歳から86歳の130名の皆さんが、できることを分担して活動しています。私が一番惹かれたところは看取りまでの施設であること。また、足利市民だけでなく全国から受け入れているとのことでした。ワインに至っては、沖縄サミットの晩餐会に採用され大きな称賛をいただく程の物でした。

傾斜45度もあるブドウ畑での草刈りや、剪定作業、袋掛けや収穫など手作業を根気強くできることは、知的障害のある方たちの特性であると同時に、支援の賜物であると思います。その人らしく、いきいきと活動する場所があることが素晴らしいと思いました。



2025年度第2回やまゆり生活サポート協会主催研修会

会計 三浦 ひろみ



11月10日（月）港南区民文化センター「ひまわりの郷」ホールにて、第2回やまゆり生活サポート協会主催研修会が開催されました。今回のテーマは『障害のある人の権利擁護の動向』～成年後見・意思決定支援を中心に～。講師は淑徳大学教授（副学長）・社会福祉士の鈴木敏彦氏です。

親なきあと大切な家族を誰に託し守ってもらうのか、大きな仕組みが成年後見制度であり、本人の意思決定を支えることと深く関わっています。「障害のある人も、自分らしく自分の思いを大事に、周りの人に大切にされながら生きていく」ための援助が意思決定支援です。日常生活の中で小さな選択を積み重ねる経験が、社会生活における大きな場面での意思決定支援につながっていきます。意思決定支援は本人だけの課題ではなく、周囲の支援者の関わり方の問題でもあります。鈴木氏のお話は本人や家族に寄り添う温かさがあり、その思いが支援者の方にも届くようにと願い、前向きな学びとなった研修会でした。

知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の
生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 ●の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

主な補償内容	
病気やケガで入院したとき 入院給付金 ※プランによって補償します	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します	
就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します	

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館 2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL: 03-5401-3660
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2025年1月現在の内容です。(D-007608 2026-03)

2026年1月5日現在の加入者は10,500名余です。毎月1日付で加入できます。2026年（令和8年）も「生活サポート総合補償制度」をよろしくお願いたします。

啓発キャラバン隊研修会 in 浜松

権利擁護委員長 阿部 多賀子

11月27日(金) 地域福祉施設「ちどり」会議室にて、かわさきキャラバン隊12名、自宅から1名が「啓発キャラバン隊研修会」にオンラインで参加をしました。

基調講演:「そもそも、啓発キャラバン隊の必要ってなんだっけ？」

講師: 又村 あおい 氏 全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長

啓発キャラバン隊の必要性は、共生社会の実現を目指して取り組むべき意義のある活動だから、差別解消法が努力義務から義務に進む中、知的発達障害者を知ってもらうことの必要性、しかも「楽しく、なるほど!」と思ってもらうための疑似体験! ということで、啓発キャラバン隊を進めようと全国に広がっているそうです。



実演:「浜キャラ」浜松キャラバン隊による知的発達障害の実演を視聴しました。

シンポジウム:「松本SOBA 's」「しずおか♡おでんジャー」「せとっこキャラバン隊」の立ち上げから今に至るまでのお話を聞きました。

グループディスカッション: 全国にキャラバン隊の皆さんと情報交換し、たくさん参考になるお話が聞けました。

麻生支援学校障害基礎年金学習会

副会長 梅田 順子

12月13日(土) 神奈川県立麻生支援学校にて在校生の保護者の皆さんを対象に障害基礎年金学習会を行いました。前半は全国手をつなぐ育成会連合権利擁護センター作成の『障害基礎年金基本の「き」解説』と『障害基礎年金』社会保険労務士が質問に答えます! のDVDを見ていただきました。



休憩を挟んで質疑応答の時間が設けられ、様々な質問が出されました。かかりつけ医を持っていない人は、不安を感じたようでした。

我が子の頃よりも皆さんの熱心な姿勢が見られ、またお父さんの参加者が多くかなり詳しく勉強している感じがして、頼もしく思いました。皆さんの年金申請がうまくいきますようにと願っています。

すったもんだの毎日

息子は、水泳を続けて長い年月がたつのですが、練習はマイペースできれいに泳げるのは背泳ぎのみ、自由型は本当に自由に泳いでいます。もう大人になったので今は速く泳ぐことよりゆっくり長く泳いで運動不足を解消することに重きを置いていますので、それでいいと思っています。

数年前のことですが、プールには行くがコーチの言うことを全く聞かない時期がありました。それでも当時参加していた大会にはチームエントリーの都合上、25m自由型と25m背泳ぎに申し込みました。「秘密兵器だから練習は未公開で」などと冗談を周りに言いながらも、内心は本当に『秘密』のまま終わるのではないかとハラハラしながら大会を見守りました。結果、メダルを取ってくるのでほっとしたものです。応援に駆け付けた当時入ったばかりのコーチが「えー、泳げるんですね～」ととても驚いていました。「練習嫌いの試合好き」とも息子の性格を表している出来事でした。



シルバー・ブロンズコレクターですが

(A. K.)

第9回手をつなぐフェスティバル かわさきキャラバン隊参加

権利擁護副委員長 西澤 知子

11月29日(土)東急ドレッセとどろきアリーナに於いて、「第9回手をつなぐフェスティバル 川崎市障害者週間 記念のつどい」が開催されました。

かわさきキャラバン隊は福祉団体による体験コーナーにて、会の紹介と知的発達障害疑似体験を行いました。「数えてみましょう」など4つの体験をしてもらいました。親子連れや施設の職員の方など56名が参加され、「身近にいる障害者への接し方を学べた」との感想もありました。



これから知的発達障害について少しでも知っていただき、障害者への理解がさらに進むことを願って、活動の場を広げていきたいと思えます。

令和7年度川崎市障害者作品展



12月10日(水)から12月14日(日)アートガーデンかわさき第1・2展示室にて、障害者作品展が開催されました。障害のある方の絵画、写真、書、手工芸などの作品が展示されました。159点の作品はどれも、素晴らしく、来場した方々は、1つ1つをじっくりと観賞していました。作品を出展した方が、うれしそうにお話しながら、ご家族の方

と会場を回っていたのは、心温かく感じ、とても印象的でした。

土日はワークショップの「祝い箸づくり」「くまカスタネット」が開催されていて、参加していた会員さんと息子さんが、作った馬柄の箸袋を私に見せてくれました。私も作ってみたのですが、残念ながら終了の時間となっていました。

出展した方々が、さらに素敵な作品を創作することを期待して、楽しみに来年を待ちたいと思えます。(安達 ゆかり)

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の会員様へ

手をつなぐがん保険

なぜ障害のある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？^(※)

(※) ぜんち共済お客様アンケートより

加入できます！



手をつなぐがん保険
3つの特長

右記動画の中で、前会長の久保顧問とぜんち共済代表の櫻本が「手をつなぐがん保険」への思いについて対談しています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もごさいます。ぜひご覧ください！！

1

代理手続き
代理告知が可能

障害のある方向け
プラン

2

告知対象
疾患の緩和

障害のある方向け
プラン

3

“親なきあと”に
備える補償

障害のある方
ご家族向けプラン

障害のある方と
そのご家族をワイドに
お守りする
保険です

動画はこちら▶ 

<https://youtu.be/ffq9QDNV6wM>

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら Z011-2409R10

関東財務局長(少額短期保険)第14号

ぜんち共済株式会社

ZENCHI
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

[引]受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京都千代田区三番町 6-4
TEL: 03-3515-4126 / 営業時間: 平日 9時～17時

0120-322-150

平日10時～16時 / 土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

WEBからも資料請求できます！

資料請求
フォーム

▶ 

この広告は「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済までお問い合わせください。

第53回かわしん ふれあい市場

10月17日（金）川崎信用金庫本店1階ロビーにて開催されました。会場には、ふれあい製品のパンや手芸品、刺繍されたタオルなどが、きれいに並んでいて、お客様は楽しそうにお買い物されていました。

この日は、川崎フロンターレの「ふろん太くん」が応援に来てくれ、会場を盛り上げてくれました。

これからも障害のある方が作り上げた製品が、たくさんの人に届くことを願っています。
次回、令和8年5月15日（金）に開催予定です。 （安達 ゆかり）



第10回ふれあいバザールみぞのくち

11月13日（木）JR武蔵溝ノ口駅改札外の南北自由通路において開催されました。今年は12の福祉施設が出店し、施設で作られたふれあい製品を販売しました。

この時期らしいクリスマスや正月の飾り、バックやエプロンなどの布製品、どれも可愛らしく温かみがあり多くの人がお店の前で眺めたり手に取ったりしていました。

私も販売のお手伝いをする事になり、行きかう人たちに声をかけたり製品を勧めたりしました。ドキドキしましたが買ってもらえると嬉しくなり、製品を作った方の思いに少し近づけたように思いました。来年も多くの方に来てほしいと願います。（小澤 千枝）



私たちの広場「勉強会」

11月16日（日）市立高津中学校武道場にて、スポーツクラブ SELF ご協力のもと「卓球教室」を開催しました。本人会5名、コーチ2名、支援者・事務局4名が参加し、参加者それぞれの状態や腕前に合わせて、ボールを打つ基礎練習から始まり、ラリー練習、最後は試合を数試合行いました。支援校時代に卓球部で活躍され、マイラケットを手に満面の笑顔でスマッシュを打ち込む人。初めての卓球に戸惑いながらもめきめき上達する人、経験や思い出を胸に、それぞれのペースで卓球を楽しんでいました。



今後は、より一人ひとりの状態に応じたきめ細かな配慮を行い、全員が安心して楽しめる教室づくりを目指していきます。

（支援者チーフ 大橋）

令和7年障害者週間街頭キャンペーン

12月6日（土）障害者週間街頭キャンペーンで、ポケットティッシュの配布が川崎駅・武蔵溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅の周辺で行われました。社会福祉法人川崎市社会福祉協議会障害者団体部会の事業として実施され、当会も参加しました。

障害者週間は、障害者の完全参加と平等をめざし、「障害」について市民の理解を助け、共に生きる福祉のまちづくり推進することを目的に実施されます。寒い中でしたが人通りも多く、各場所とも30分ほどで、配布を終えました。配布したリーフレットには、当会をはじめ、川崎市内で活動している障害者団体が紹介されています。

（三浦 ルイ子）



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和7年10月24日～令和8年1月19日まで》

<各種会議、行事>

10月27日(月)	中原支部懇親会	福祉パルなかはら
11月5日(水)	行政関係者との研修会	エポックなかはら7階会議室
6日(木)	三役会議	オンライン
18日(火)	やまゆりとの共催研修会	てくのかわさきてくのホール
19日(水)	第6回運営委員会	オンライン
21日(金)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
25日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
12月1日(月)	川崎市弘済会からの寄付授与	地域福祉施設「ちどり」
5日(金)	多摩支部おしゃべり多摩	福祉パルたま研修室
23日(火)	三役会議	オンライン
1月19日(月)	第7回運営委員会	オンライン

<対外行事>

10月24日(金)	障害者団体部会リーダー研修	ココ・ファーム・ワイナリー
29日(水)	川崎市社会福祉協議会福祉大会	エポックなかはら
11月8日・9日	全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会	日本工学院他(蒲田)
10日(月)	第2回やまゆり生活サポート協会研修会	港南区民文化センターひまわりの郷
12日(水)	川崎市高齢者・障害者施設従事者等虐待防止検討会	川崎市役所本庁舎
13日(木)	ふれあいバザールみぞのくち	武蔵溝ノ口駅南北自由通路
13日(木)	川崎市あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
14日(金)	やまゆり生活サポート協会事業推進委員会	神奈川県社会福祉センター
15日(土)	川崎市立中央支援学校まつり	川崎市立中央支援学校
15日(土)	川崎市立田島支援学校高等部文化祭	川崎市立田島支援学校
17日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
20日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
25日(火)	障害者週間街頭キャンペーン事前準備	川崎市総合福祉センター
25日(火)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
27日(木)	啓発キャラバン隊研修会	地域福祉施設「ちどり」他
27日(木)	川崎市障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
29日(土)	手をつなぐフェスティバル	とどろきアリーナ
12月4日(木)	やまゆり生活サポート協会本人会クリスマスコンサート	海老名市文化会館小ホール
6日(土)	障害者週間街頭キャンペーン	川崎駅・溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅
10日(水)	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合福祉センター
10日～14日	川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
13日(土)	麻生支援学校障害基礎年金学習会	神奈川県立麻生支援学校
15日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
18日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
1月6日(火)	川崎市賀詞交換会	ミュージア川崎
13日(火)	川崎市社会福祉協議会賀詞交換会	ホテル精養軒
14日(水)	関東甲信越ブロック代表者会議	東京都育成会事務局会議室
15日(木)	川崎市あんしんセンター業務監督審査会	オンライン
15日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン

寄付

(一社) 川崎市弘済会	100,000円
美和 とよみ	10,000円
梅田 俊彦	5,000円
宇津木 範子	5,000円
(敬称略・順不同)	





令和7年度川崎市障害者週間 記念のつどい

11月29日(土)とどろきアリーナにて「第9回手をつなぐフェスティバル」が開催され、社会福祉の発展に向上における功績が顕著な方に『福祉功労者賞』市長表彰が行われました。当会会計の三浦ひろみさんが『心身障害児者福祉功労者(育成功労者)』として表彰され、賞状を授与されました。これからも、よろしくお願ひいたします。

令和7年度 川崎市障害者週間 街頭キャンペーン



編集後記

親の会での通常の活動報告、今後の予定のほかに、全国手をつなぐ育成会連合会の全国大会開催地が東京でしたので参加される方も多く、沢山の報告を上げることができました。

本大会前のセキュリティチェックの物々しさに戸惑いもしましたが、この紙面上で東京大会の熱気やとても有意義な情報が皆様にも少しでもお伝え出来たらうれしいです。

(神田 明子)

【も く じ】

- P. 1・・・育成会会長新年のあいさつ
- P. 2・・・第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会 報告
- P. 3・・・同 連合会全国大会東京大会 分科会
- P. 4・・・同 連合会全国大会東京大会 分科会・本人
会参加/やまゆり生活サポート協会との共催研修会のお知らせ
- P. 5・・・行政関係者との研修会/やまゆり生活サポート協会との共催研修会
- P. 6・・・支部通信 中原支部/川崎支部/多摩支部/幸支部
- P. 7・・・令和7年度川崎市障害者団体部会リーダー研修/2025年度第2回
やまゆり生活サポート協会主催研修会/やまゆり広告
- P. 8・・・啓発キャラバン隊研修会 in 浜松/麻生支援学校障害基礎年金学習会
/すったもんだの毎日
- P. 9・・・かわさきキャラバン隊活動報告/令和7年度川崎市障害者作品展/ぜん
ち共済広告
- P. 10・・・第53回かわしんふれあい市場/第10回ふれあいバザールみぞのくち
/私たちの広場/令和7年障害者週間街頭キャンペーン
- P. 11・・・活動報告/寄付・賛助会費
- P. 12・・・令和7年度川崎市障害者週間 記念のつどい/令和7年度川崎市障害者
週間街頭キャンペーン/編集後記/もくじ

編集担当
三浦ルイ子
安達ゆかり
木村益美
梅田順子
美和とよみ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 加藤 敦子

〒213-0011 川崎市高津区久本3-6-22 地域福祉施設「ちどり」

TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>